

申請者 里山辺地区まちづくり協議会

1 交付決定額 

I	金 750,000円
---	------------

2 本年度実績の報告

(1) 本年度の交付金事業の報告

① 事業名： 里山辺わいわいカレー事業			
実施主体	里山辺地区まちづくり協議会・里山辺公民館		
実施日（期間）	令和4年4月～9月		
実施場所	山辺小学校東側の圃場（田・畑）、里山辺公民館		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・里山辺地区の農業後継者及びボランティアの指導のもと、農業体験と食育を学ぶ体験型学習を実施し、里山辺地区に住む小学生以下の親子、延べ173名が参加した。</li> <li>・7アールの水田で米作り、2アールの畑でじゃがいもや人参等の栽培・収穫作業を行った。</li> <li>・3年ぶりに収穫祭を開催。収穫した米や野菜を使ったカレーを食べた。</li> </ul>		
地域づくりの成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動に参加する機会の少ない小学生と保護者が、地域の人々と一緒に農作業等を行うことによって交流を深めるとともに、地域活動に積極的に参加する大切さを学習することができた。</li> <li>・自分達の手で育てた食物の大切さを含め、自給することや安全について学習することができた。</li> <li>・作物を育てる過程で、自然の大切さや厳しさを学習することができた。</li> </ul>		
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加する子どもたちは家庭や習い事で忙しく、参加者が固定化しつつある。参加者に口コミで事業の魅力を伝えてもらい、新規の参加を増やしたい。</li> <li>・今年で11年目を迎え、マンネリ化しつつあるので、自然とのふれあいや体験学習など山辺の農業と食育とのつながりを伝える内容としていく。</li> </ul>		
決算額	a + b + c	財源内訳	
	158,965円	a 158,965円	b 円
		c 円	円

a：本年度の交付金額のうち、この事業に充当した額

b：前年度の交付金の繰越額のうち、この事業に充当した額

c：この事業に充当したその他の財源の額

② 事業名：里山辺地区あいさつ運動推進事業			
実施主体	里山辺地区まちづくり協議会		
実施日（期間）	令和4年5月～令和5年3月		
実施場所	里山辺地区全体、単位町会		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山辺小5年生の「あいさつ運動宣言」、里山辺保育園児や、山辺小児童、山辺中生徒が作成した絵を提供してもらい、「令和5年度あいさつ運動カレンダー」を作製。地区内全戸に配布した。</li> <li>・単位町会において、役員等が中心となってあいさつの推進に努めた。</li> </ul>		
地域づくりの成果・効果	カレンダーに、自分のあいさつ目標と実践結果を書き込めるチェックシートをつけることにより、あいさつ運動に対する意識づけができた。		
課題	あいさつ運動は成果が目に見えにくいため、今後の運動の展開についてより一層検討する必要がある。		

決 算 額	a + b + c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	176,000円	156,000円	円	20,000円

③ 事業名： 里山辺地区文化財等保存継承事業				
実 施 主 体	里山辺地区まちづくり協議会・里山辺公民館			
実施日（期間）	令和4年11月～令和5年3月			
実 施 場 所	里山辺地区全体、里山辺公民館			
事 業 概 要	平成29年度に発刊した「里山辺地区文化財等全調査集」に掲載した文化財等の中から抜粋し、文化財等の説明立て看板を作製し、設置した。			
地域づくりの成果・効果	説明立て看板を設置したことによって、地区住民が文化財等に親しみ、受け継がれてきた地域の歴史を感じて地域を大切に誇りに感じられるきっかけを作ることができた。			
課 題	文化財等は膨大な数であり、全てに説明立て看板等を設置することは難しいが、地域住民が文化財等に対して、より親しみを持てる環境を整えていくことが必要である。			
決 算 額	a + b + c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	233,200円	205,000円	28,200円	円

④ 事業名： 里山辺地区まちづくり事業				
実 施 主 体	里山辺地区まちづくり協議会			
実施日（期間）	令和4年4月～令和5年3月			
実 施 場 所	里山辺地区全体、里山辺公民館			
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍のなか、住民の交流を再開するきっかけづくりとして、「さとカフェ」の開催を企画。地域のコミュニティづくりを進めるため、カフェで使うテーブルを制作し、町内公民館の駐車場などを利用して開催した。</li> <li>・連帯意識の造成を図るため、情報誌『さと通信』を定期的に全戸へ配布した。</li> <li>・より親しみが持てるチラシを配布するため、カラープリンターを購入した。</li> </ul>			
地域づくりの成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスは「人の絆」等を断ち切ることになり、地区の活動に大きな波紋を投げかけ、地域づくりのあり方について改めて考えさせられた。</li> <li>・自分が好きな時に好きなだけ、気軽に顔が出せる「さとカフェ」事業は、沈みがちな表情をしていた高齢者や地域住民を笑顔にする一助となった。</li> </ul>			
課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本来ならより多くの人に気楽に参加してもらい、地区としての課題をさぐり、解決に向けてどう行動するべきか、多くの意見をいただきたいところだが、新型コロナの関係もあり、話し合いの開催が難しい。</li> <li>・「さとカフェ」事業を支えてくれるボランティアの発掘。</li> </ul>			
決 算 額	a + b + c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	154,051円	139,988円	14,057円	6円

決 算 額（計） （①+②+③+④）	A + B + C	財 源 内 訳		
		A	B	C
	722,216円	659,953円	42,257円	20,006円

A：各事業のaの合計額  
B：各事業のbの合計額  
C：各事業のcの合計額

(2) 本年度の積立実績の報告

事業名：里山辺地区文化財等保存継承事業資金積立事業					
積立目的	平成29年度発刊の「里山辺地区文化財等全調査集」に掲載した文化財等を中心にPRするための大型看板を設置するため、その費用にするもの。				
積立期間	平成31年度から 令和4年度まで (本年度 4年目)				
積立ての目標金額	340,000円				
積立実績	区分		積立額	積立事業への積立金充当額	差引累計
	前年度までの積立経過	1年目	25,000円	0円	25,000円
		2年目	25,000円	0円	50,000円
		3年目	200,000円	0円	250,000円
		4年目	円	円	円
		5年目	円	円	円
	本年度の積立実績		D 90,000円	E 0円	F 340,000円
	合計額		340,000円		
本年度積立金を充当して実施した事業の概要					
実施主体					
実施日(期間)					
実施場所					
事業概要					
地域づくりの成果・効果					
決算額	E+G	財源内訳			
		E	G		
充当後の積立事業取扱方針					
積立継続( 年度まで)・廃止					
廃止する場合は、積立金残高(F)の処理方法					

E：充当した積立金の額  
G：その他の財源の額

(3) 本年度の交付金のうち、翌年度に繰り越す金額の報告

I-A-D	金	47円
-------	---	-----

[参考] 繰越上限額=地域づくり推進事業分予算額の10分の2

3 添付書類

- (1) 事業実施が確認できる資料(チラシ・パンフレット、写真、新聞記事等)
- (2) 積立をおこなった場合は、松本市地域自治支援交付金積立承認通知書の写し